

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年 6月 30日

沖縄県知事  
玉城 康裕 殿



提出者

住 所 沖縄県国頭郡本部町字大嘉陽166番地  
氏 名 本部生コン株式会社  
代表取締役 崎 山 正 治  
電話番号 0980-47-3176(代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	本部生コン株式会社
事業場の所在地	沖縄県国頭郡本部町字大嘉陽166番地
事業の種類	E21 窯業(生コンの製造販売)
産業廃棄物処理計画における計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

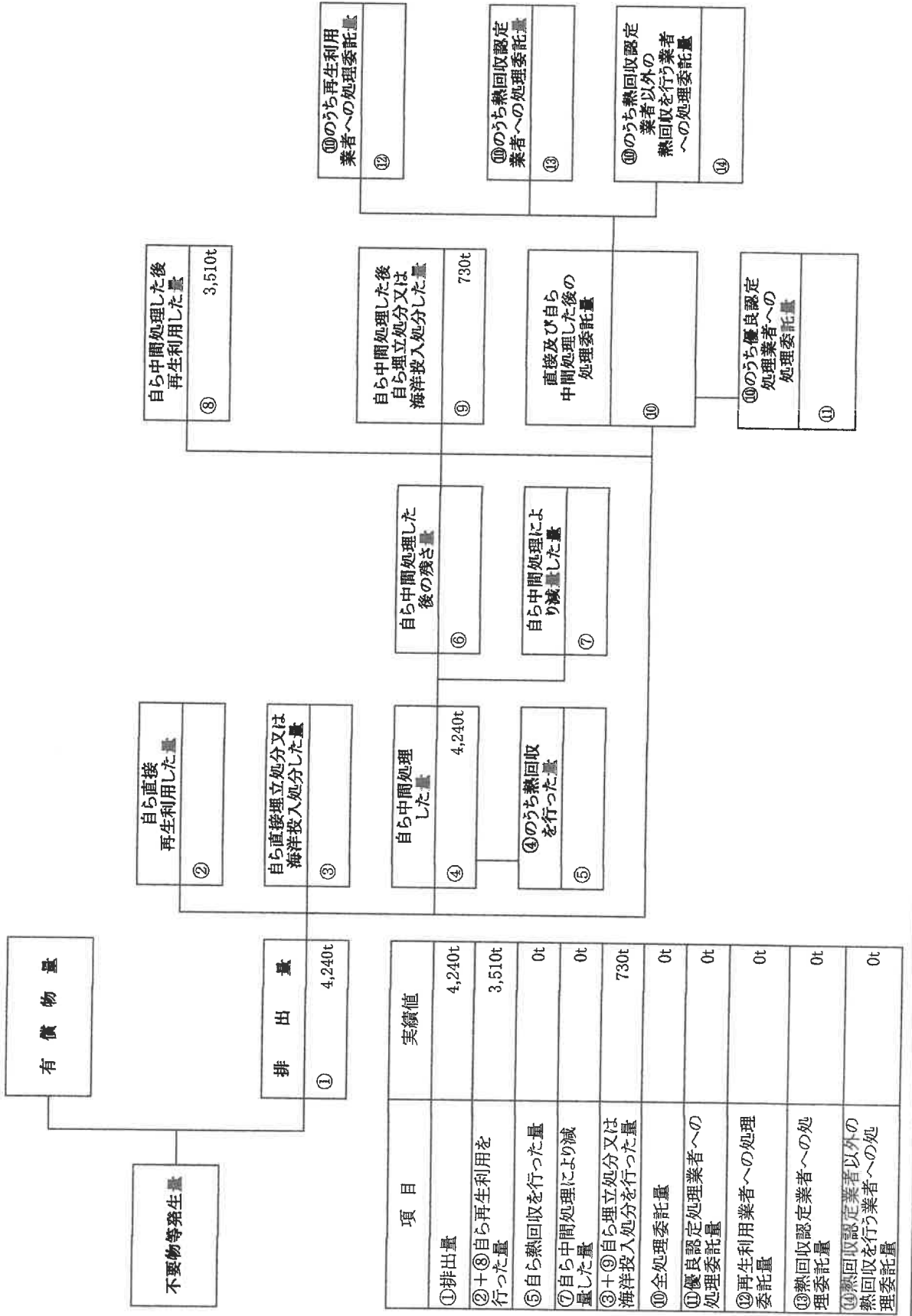
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,240 t	全処理委託量	- t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3,510 t	優良認定処理業者への処理委託量	- t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への処理委託量	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への処理委託量	- t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	730 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t

※事務処理欄

(単位: トン)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: コンクリート・洗淨水)

2022 年度

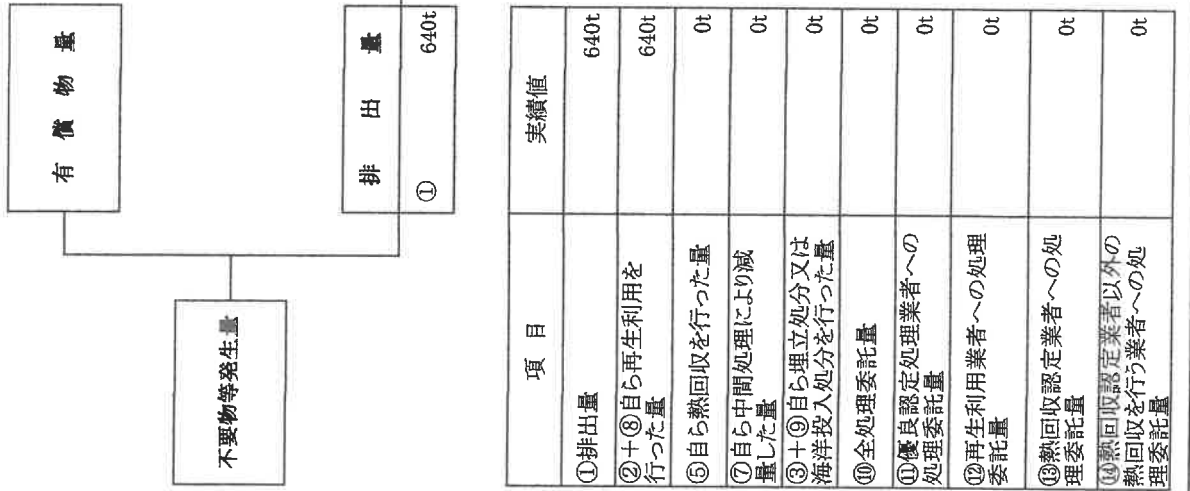


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート)

(単位: トン)

2022 年度

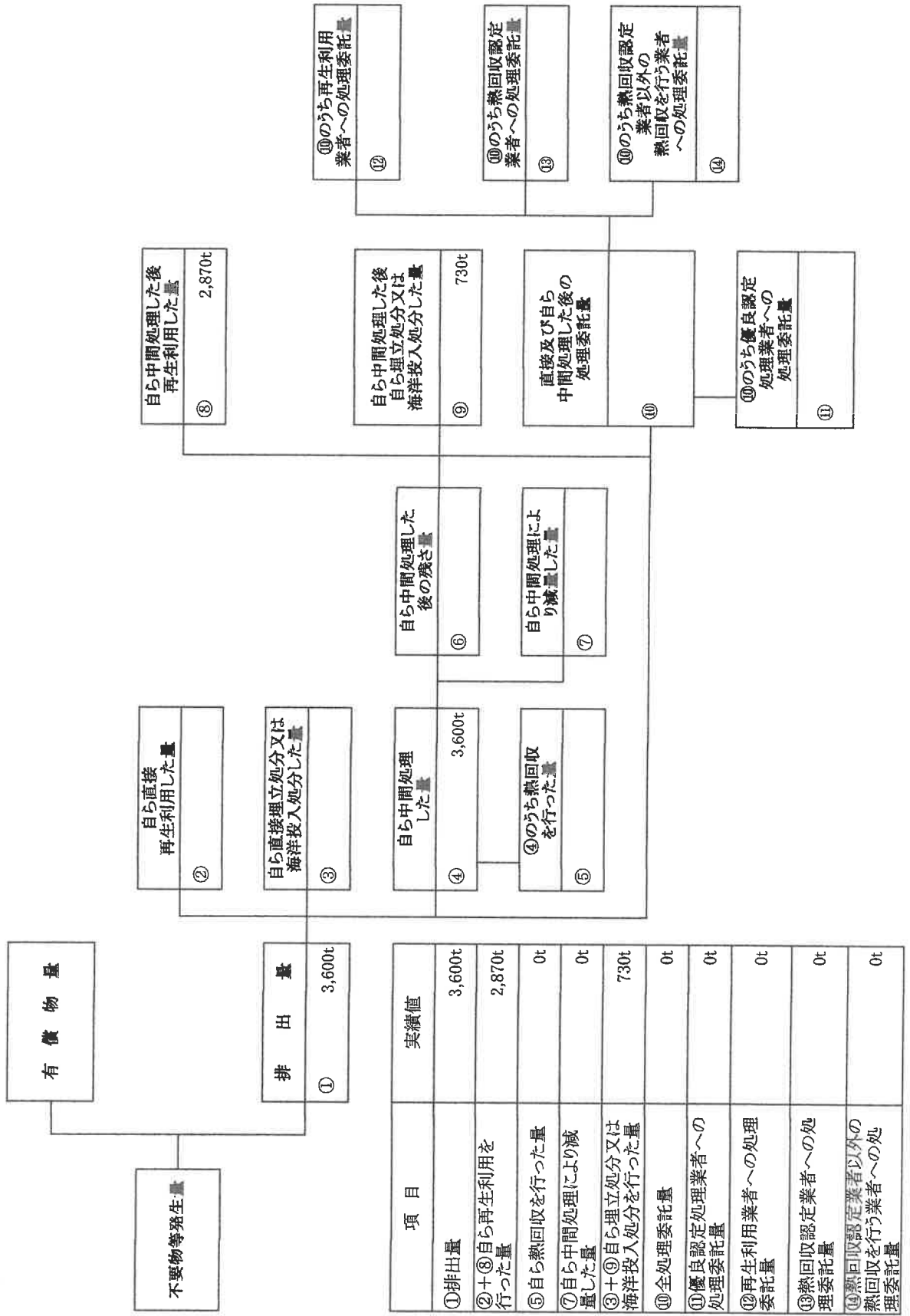


項目	実績値
①排出量	640t
②+③自ら再生利用を行った量	640t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑩再生利用業者への処理委託量	0t
⑩熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑩熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 洗浄水)

(単位: トン)

2022 年度



項目	実績値
①排出量	3,600t
②+⑧自ら再生利用を行った量	2,870t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	730t
⑩全処理委託量	0t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

処理実績算出データ

2022年度:2022年4月1日～2023年3月31日

基本データ	生コン出荷量	m <sup>3</sup>	18,205	2022年度出荷実績
	操業日数	日	268	
	運搬車稼働台数	台	5,795	
コンクリート	コンクリート	出荷量x1%	182	コンクリートの再利用量 ①ブロック製作 ②破砕・粒度調整処理
	分球砂・碎石	出荷量x1%	182	
	脱水スラッジ	洗浄水x5%	180	
	その他		100	
	コンクリート合計(t)		640	
洗浄水t	運搬車洗浄	稼働台数x0.25t	1,450	水の再利用量 出荷量x0.17(t)x再利用率= 2,870 0.175:生コン1m <sup>3</sup> の水量 0.9:再利用率
	製造設備洗浄	稼働日数x3t	804	
	洗車場清掃	稼働日数x2t	536	
	骨材供給設備洗浄	稼働日数x2t	536	
	混入雨水等	洗浄水x5%	170	
	その他		100	
	洗浄水合計(t)		3,600	
放流水=洗浄水-再利用水(t)			730	放流前にpH処理
<p>自ら行った中間処理の量 4,240 t</p> <p>再利用の合計 3,510 t</p> <p>廃棄量 730 t</p>				